

SSRI

ちよつと一言

Give me a break !

## 平成 31 年度防衛費 5 兆 2,574 億円のカラクリ

藤岡智和

防衛省は 8 月末に平成 31 年度予算に前年度比 2.1%増の 5 兆 2,900 億円を要求した。しかしこれには例年なら 2,212 億円を計上する米軍再編関連経費の額を明示しておらず、これを含めると実質的には 6%超の大幅増となると見られていた。

これに対し 12 月 21 日に閣議決定した 31 年度予算の政府原案で防衛費は米軍再編関連経費を含めても 1.3%増の 5 兆 2,574 億円になっていて、概算要求から実質 2,500 億円程度が削られていることになる。

ところが概算要求と政府原案の内容を比較してみると要求項目から削られた主要項目は見受けられない。それどころか E-2D は 2 機要求が 9 機増やされている。これはどういうことか。

これには 31 年度予算と同時に閣議決定された 30 年度予算の第 2 次補正予算を見るとそこにカラクリがあった。

第 2 次補正の防衛関係分は 3,998 億円で、29 年度の補正予算 2,345 億円を 1,653 億円上回っている。そもそもこの 2,000 億円を超える規模の補正は 5～6 年前から続けられているもので、次年度予算の先取りの様なものである。

31 年度概算要求分の一部を 30 年度の補正予算に廻せば 31 年度の予算が見かけ上少なくなるばかりか、30 年度中に予算が執行できるメリットがある。この補正予算を加えると 5 兆 1,251 億円であった 29 年度は 5 兆 3,596 億円、5 兆 1,911 億円と当初予算で 1.3%増の 30 年度は 2 回の補正で 5 兆 6,281 億円と最終的に 5%増になり、当初予算だけで防衛費の増加率を比較しても意味がないことになる。

ただこのような奇策に頼る防衛増は何時までも続くとは思えず、そろそろ「実は…」と尻をまくる必要があるのではないか。(2018 年 12 月 22 日)